

澤乃井酒蔵見学と御嶽溪谷散策 (2019/5/14)

青空の会 杉山

5月14日澤乃井酒蔵見学と御嶽溪谷散策に出かけた。場所は青梅市であるが、入間や飯能からは反対側にあり、奥多摩町に近い所にあった。西武池袋線、西武新宿線、西武国分寺線、西武拝島線、JR 青梅線を乗り継いで沢井駅まで行った。途中所沢駅で3名、拝島駅で2名、青梅駅で3名が合流し10名になった。天気予報は午後から雨だった。上空は黒い雲が山に迫っていて、すぐに雨が降りそうだった。

案内開始は11時から。まず酒ができるまでの座学から始まった。1702年創業し、当時は約10%の玄米を削って酒を造り、今でも元禄酒として販売している。現在は35%以上削った精米で酒を造っている。米の種類は粒の小さなコシヒカリより大粒な山田錦が用いられており、岡山県で生産されている。20年ほど前までは市内で生産された米も使っていたが、今は全国から調達している。元禄蔵、明治蔵、平成蔵を見た後に水源を見た。蔵の裏側は山があり、横穴が百メートル以上掘って、地中を通った新鮮な水が湧いている。硬度が低く、酒に適した水であるとのこと。次は試飲である。熱処理をしていない生酒だった。口当たりがよく、試飲では禁止されているお代わりをした。酒には興味があるので、質問が絶えなかった。

見学ツアーはこれで終わりである。時刻は11:50。澤乃井さんは酎酒コーナーや昼食会場、飲食できる清流ガーデンも経営している。男5人で異なる酒をオーダーし、飲み比べをした。やはり高価な酒は飲みやすくフルーティでおいしかった。食前酒の後はランチである。しっかり食べるには「ままと屋」で3,000~5,000円。ちょっとおしゃれに食べる時は「豆らく」で1,300~2,000円。室外の自然を味わう時は「清流ガーデン」で250~650円の単品。単品にはそばやうどん、もつの煮込み、枝豆、冷奴、おでん、味噌田楽などがあった。飲酒後だったので、5人で単品を購入してシェアした。単品だけでも13時まで話題は尽きなかった。

13時から御嶽溪谷遊歩道の散策である。楓橋を渡って対岸にある寒山寺を通過して上流へ。鵜の瀬橋を戻って青梅街道側の遊歩道を上流へ。御岳橋をくぐって、カヌーやカヤックを練習している人、ラフティングを楽しんでいる人が見えてきた。歩き始めてからちょうど1時間が過ぎ、足が疲れてきた。予定はもう少し上流まで行く計画だったが、杣の小橋（そまのこばし）を渡って御嶽駅へ戻ることにした。御岳橋の上から川下を臨むと、川に吸い込まれそうになったが、御嶽溪谷が一望できとても壮大だった。

天気が気になる1日だったが遊歩道を歩いている時に雨は止み、終わってみれば太陽の陽射しがなく、雨もなく、快適な1日だった。いろいろな種類の酒を味わえ、大自然を満喫でき、身も心も爽快になりました。



清流ガーデンでランチ



御嶽溪谷遊歩道の散策



御岳橋の歩行



ピンテージ酒